

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	自治会長関係事業					事業コード	020101720139					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課			所属長	片岡 まり子						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	61	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	自治会長に対する事務委嘱要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	「風通しのよい市役所」の実現をめざし、地縁コミュニティである自治会と行政が相互連絡を行うことで地域での暮らしやすさを向上させるため、自治会長に対する事務											
対象者	自治会長	対象者数	326		単位あたりコスト	362.8						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス(株)、(株)レントオール福知山、舞台照明CREW・SOLOOK											
事業概要 (箇条書き)	・行政事務の円滑化を図るため、自治会長に対する事務委嘱要綱に基づき、自治会長に行政事務の一部を委嘱し、円滑な行政運営を行う。 1 委嘱事務(市広報紙等の配布、周知事項の連絡、各種募金の取扱い等)、2 自治会長運営委員会の開催(年2回)、3 自治会長会の開催(年1回) ・地域(市民)と行政とのパイプを活用した「風通しのよい市役所」の実現をめざすことを目的として、自治会ごとに「地区担当職員」を配置する。 ・地縁団体(自治会)の認可申請等に関する事務を取り扱う。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	報酬	101,858	自治会長報酬									
	報償費	1,596	自治会長運営委員報償費、自治会長運営委員連絡協議会報償費、自治会長表彰記念品、自治会のあり方検討に関する研修会講師謝礼									
	需用費	3,364	自治会長証印刷、宅配袋購入、福祉バス燃料費、上質紙・色上質紙購入、賞状(表彰状・感謝状)印刷									
	役員費	859	自治会長文書郵送料									
	委託料、使用料及び賃借料、旅費	1,285	福祉バス運転代行業務委託、自治会長会施設使用料、自治会長会会場設営業務委託									

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	110,915	111,842	112,718	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
		前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	110,915	111,842	112,718	0					
予算財源内訳	① 一般財源	110,903	111,830	112,706	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	12	12	12	0				
決算情報	① 流充用額	△ 278	△ 2,010						
	② 配当予算	110,637	109,833						
	③ 執行額	109,066	108,960						
	④ 執行率	98.6%	99.2%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.50 / 0.70	0.85 / 0.90	/	/				
	② 概算人件費	5,960	9,320						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	115,026	118,280							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地縁団体証明手数料	種類	総務手数料	実績金額	15	決算附属資料	11	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	自治会長会開催数	回	0 / 2	1 / 2	1 / 1	/ 1	1
	地区担当職員の活動件数	回	1028 / 1308	992 / 1308	1671 / 1308	/ 1308	1308
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	文書送達件数(各戸配布)	回	47 / 55	50 / 55	48 / 55	/ 55	40
		単位あたりコスト	2318.3	2179.2	2270.0		
		単位あたりコスト		1			自治会長関係事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	市民にとって最も身近な組織である自治会と市は、連携を保ち円滑な住民サービスの提供及び各種施策の推進を図っていく必要があることから、毎年自治会長会及び自治会長運営委員会を開催し、市の施策に関する協議や重点事項の説明を行い、市の取組の共有を行うことで、協働してまちづくりを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	市民への行政情報提供のための各種お知らせなどの回覧や各戸配布については、自治会長に事務を委嘱し、自治会のネットワークを活用することでコストを軽減し、非常に効率的に周知を行うことができています。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	地区担当制度により、地域の代表者である自治会長と定期的に連絡をとり「地域の声」を聞くことで、地域課題の拾い上げや市担当課、他関係機関への橋渡しを行うなど、地域の課題解決や市施策の推進及び行政事務を円滑に進めている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長事務委嘱要綱に基づき、市広報誌等配布等の事務を委嘱し、市政の実施に協働で取り組んでいる。しかし、一方で、自治会役員のなり手不足が課題となっていることから、自治会長への事務の委嘱のあり方等について検討を進める必要があり、令和5年度は自治会長アンケートを実施して、負担感等についての調査を行った。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 事務委嘱のあり方については、庁内の関係課による検討委員会の設置や自治会長から意見をお聞きするなど、見直しに向けた検討を開始していく。 令和5年度末、自治会長を対象としたアンケート調査を行い、市が自治会長へ委嘱している事務のほか、自治会の会議や行事、資料作成等の様々な業務について負担感をお伺いした。この調査結果をふまえながら現状と課題の整理・分析を行いつつ、自治会長の負担軽減や今後の自治会活動に対する支援策について検討をすすめる予定としている。これらの検討をすすめるにあたっては、令和6年度、検討委員会を立ち上げ、自治会長にも委員として参加いただくことを予定している。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	地域振興基金造成事業					事業コード	020110202401					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備					
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課				所属長	片岡 まり子					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	86	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市地域振興基金条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山市地域振興基金条例に基づき、市民の連帯の強化及び地域振興に要する資金を地域振興基金に積み立て、今後市民の連帯感の醸成や地域振興に資する事業の財源として活用する。											
対象者	市民	対象者数	75,000	単位あたりコスト	1.7							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	令和5年度予算の一般財源の余剰金を地域振興基金に積み立て、地域活性化、産業支援、また観光誘客など、将来の地域振興施策の財源として活用する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	積立金	126,539	地域振興基金積立金									

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0				
	② 補正予算	54,770	26,539	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
		前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	54,770	26,539	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	54,770	26,539	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	20,000	100,000						
	② 配当予算	74,770	126,539						
	③ 執行額	74,770	126,539						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.01 / 0.00	0.02 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	80	160						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	74,850	126,699							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	充当金事業数	件	26 / 30	23 / 30	32 / 30	/ 30	30
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	基金造成	千円	340000 / 0	74770 / 0	126539 / 0	/ 0	-
	単位あたりコスト		1.0	1.0	1.0		
	単位あたりコスト		/	3 /	/	/	地域振興基金造成事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	福知山市地域振興基金条例に基づき、市民の連帯の強化及び地域振興に要する資金を地域振興基金に積み立てている。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	合併特例債及び市の一般財源の余剰金を活用して積み立てた基金を活用している。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	市民の連帯感の醸成や地域振興に資する事業の財源として有効に活用している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	合併後(平成18年度から平成27年度まで)の10年間は、合併特例債を活用して基金に積み立てを行ってきた。今回も一般財源及び寄附金により基金を造成することができた。		
改善策	積み立てた基金の運用計画が必要である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	地域づくり組織支援事業					事業コード	020110720205					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課			所属長	片岡 まり子						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	92・93	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市自治基本条例、地域づくり組織支援事業交付金交付要綱、地域づくり組織活動支援事業交付金交付要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	一定のまとまりのある地域において、その地域の住民等により構成された包括的な自治組織である「地域づくり組織」の活動に対して、設立支援または継続支援を行うことによって、地域住民が地域のために活動し、暮らしやすい地域を自らの手で営んでいくことを通じて、地域の活性化を図る。											
対象者	市民	対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.5							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	三和地域協議会、夜久野みらいまちづくり協議会、大江まちづくり住民協議会、中六人部地域づくり協議会、上六人部地域づくり協議会、庵我まちづくり協議会準備委員会、(特非)丹波ひとまち支援機構											
事業概要 (箇条書き)	・現在、活動されている地域づくり組織に対して「地域づくり組織支援事業交付金」を交付した。 ・新たに地域づくり組織の設立を検討している地域の相談に対応し、設立準備補助金を交付した。 ・近隣市(朝来市・丹波市)と連携し、地域づくりについて学び交流する「互近助サミット」を開催した。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	報償費	40	地域づくり組織活動支援プロジェクト交付金審査会審査員謝礼									
	需用費	1	消耗品									
	役務費	1	郵送料									
	委託料	198	令和5年度3市連携交流事業委託費									
負担金補助及び交付金	29,740	地域づくり組織活動支援事業交付金、地域づくり組織設立準備補助金、地域づくり組織活動支援プロジェクト事業交付金										

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	36,334	39,494	40,396	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0		
		次年度繰越	0	0	0	0		
	小計(①~③)	36,334	39,494	40,396	0			
予算財源内訳	① 一般財源	7,984	1,494	896	0			
	② 国支出金	450	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	27,900	38,000	39,500	0			
決算情報	① 流充用額	△ 8,029	△ 9,514					
	② 配当予算	28,305	29,980					
	③ 執行額	27,928	29,980					
	④ 執行率	98.7%	100.0%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.78 / 0.00	0.80 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	6,240	6,400					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		34,168	36,380					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域づくり組織支援事業基金繰入(地域振興基金)	種類	基金繰入金	6,740	決算附属資料	38	頁
		地域づくり組織支援事業基金繰入(過疎地域持続的発展基金)		基金繰入金	22,850		38	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
		地域づくり組織への活動の参加率	%	0 / 0	5 / 5	7 / 6	/ 7
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	部会・研修等開催回数	回	249 / 140	202 / 140	205 / 140	/ 140	140
	単位あたりコスト		108.0	138.3	146.2		
	単位あたりコスト		/	5 /	/	/	地域づくり組織支援事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の困りごとを市民主体で捉え、対応するための事業を市民主体で実施していく取組は、協働のまちづくりのために必要な事業である。交付金を交付することで、地域の課題や特性に応じた様々な活動を行っていただいている。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域に活動主体を認可し、活動を支援していることで、それぞれの地域ニーズに対応した活動が展開できており、それぞれの地域の暮らしやすさの向上に繋がっている。 地域内で、自分の地域の課題を捉え、解決手段を提案し、実行する体制が構築されることで、行政サービスでは即時対応できない課題にも対応できるほか、自治会等とも連携し、地域づくりが強化されている。 また、交付金による財政支援だけでなく、各協議会の活動についての情報共有や市との意見交換の場として、各協議会の事務局との会議や、市と協議会との懇談会を開催している。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の事業については報告書により確認し、地域における課題解決に繋がっていることを確認している。 3市連携の取組により、各組織の取組み内容や情報共有を行ったことで、市内における各協議会の今後の新たな活動展開へ繋げ、地域課題に向き合う住民自治を高めることに寄与した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域・市民が主体の住民自治を継続するための活動について支援することができた。 組織設立に向け、具体的な検討を始めている地域があり、設立準備補助金による財政援助などの支援を行った。結果、令和6年度より、「庵我まちづくり協議会」が設立されることとなった。 5組織の部会の活動は、目的意識をもって活発に活動されている。 今後の課題として、地域づくり組織が設立されていない地域とのバランスの検討と、協議会の交付金以外の資金調達手段の確保が挙げられる。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 新たに設立を検討している地域へ、引き続き伴走支援を行っていく。 地域公民館との関係や地域福祉の取組との連携を踏まえ、地域づくり組織の役割や支援のあり方を整理し、事業に対する支援を重視する。 交付金以外の資金調達を積極的に推進する。 行政主導ではなく、地域が主体的に組織を設立することが重要であり、そのためにも、地域に寄り添い、情報提供や話し合いの場づくりなど、設立に向けた支援を行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	三和支所一般管理事業					事業コード	020101810437					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	02080000 地域振興部 三和支所			所属長	支所長 井上 浩人						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	65	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	三和支所施設管理事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	三和地域及び市東部周辺地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持していく。また、「教育と福祉の拠点施設」として支所内に入所する各種組織・団体(図書館三和分館、社会福祉協議会、東部保健福祉センター、地域包括支援センター、放課後児童クラブ、老人クラブ連合会、シルバー人材センター、福知山市商工会等)との連携を強化し、情報の共有・発信を図る拠点施設として管理・運営を行う。											
対象者	支所利用者	対象者数	15,000		単位あたりコスト	4.8						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	三和地域協議会											
事業概要 (簡条書き)	・三和支所における一般事務経費(事務用品、電話代、郵送料、コピー使用料等) ・三和地域協議会に自治会等連携・支援業務を委託(自治会長会運営、自治会長文書配布、無線放送録音)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	需用費	367	庁舎用品購入									
	役務費	2,946	郵送料、電話代、三和地域地域情報伝達無線システムイーサネットVPN回線利用手数料									
	委託料	900	三和地域自治会等連携・支援業務委託									
	使用料及び賃借料	416	コピー機リース料、NHK受信料									

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	10,470	4,898	4,884	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①～③)	10,470	4,898	4,884	0				
予算財源内訳	① 一般財源	10,233	4,838	4,824	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	237	60	60	0				
決算情報	① 流充用額	1,104	△ 58						
	② 配当予算	11,574	4,840						
	③ 執行額	11,433	4,629						
	④ 執行率	98.8%	95.6%						
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	6.34 / 0.98	6.33 / 5.72	/	/				
	② 概算人件費	53,464	66,656						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		64,897	71,285						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三和支所コピー代	種類	雑入	実績金額	20	決算附属資料	45	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	支所利用者数	人	14132 / 15000	15250 / 15000	13642 / 15000	/ 20000	20000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	在勤職員数	人	20 / 18	20 / 20	21 / 20	/ 20	20
	単位あたりコスト		511.7	571.7	220.4		
	支所管理経費	千円	10234 / 9907	11433 / 10470	4629 / 4898	/ 4884	三和支所一般管理事業
単位あたりコスト		1.0	1.0	1.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 三和支所は市東部地域の行政サービスの拠点施設として維持していく必要があり、現時点において民間事業者等への委託対応は困難である。 少子高齢化が進行する三和地域において、今後も地域の活力を維持していくため、支所庁舎に福祉関係部署や、教育関係施設等の集約を行うことで、教育と福祉の拠点として、住民の利便性の向上、各関係機関の連携強化による施策の充実につなげていくための重要施設として適正な管理、運営を行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 支所入所団体からは、財務規則に基づく施設使用料とともに、応分の光熱水費も徴収し運営を行っている。 また、事務経費等の抑制のため、照明のこまめな消灯、空調運転の制限などに引き続き取り組むとともに、限られた人員のなかで最大の行政サービスが提供できるよう係間の業務連携を図るなど効率化に努めた。 さらに、教育と福祉の拠点施設として関係部署等を支所庁舎に集約することにより、所管施設全体の管理経費の削減と効率化も図った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に改修工事を完了、関係団体との移転集約を行い、今後、教育と福祉の拠点として住民の利便性を高め、住民が集い、交流しやすい施設として利用者の拡大を図っていくものであり、そのための適正な施設管理、運営を行う必要がある。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 支所機能を維持するうえで必要最低限の管理経費であり、今後も必要である。 三和荘を中心とした地域交流拠点整備とあわせ、福祉関係機関や図書館の支所への移転、集約など、支所を中心とした教育と福祉の拠点整備を令和5年度に完了し、今後は、各関係団体との連携を強化し各施策の充実につなげていく。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 今後、さらに少子高齢化が進む中で、市東部地域の行政サービスの拠点施設としてしっかりと維持するとともに、庁舎に集約した各種団体等との連携強化を図り、情報の共有・発信力を高め住民福祉の向上につなげていく。 人口減少により地域活力が減衰していくなかで、支所として様々な課題に対応していくため、三和地域協議会や三和地域公民館、各種団体等と協働し、住民の日常生活を支えるとともに、住民の交流拠点としての三和荘と連携し、教育と福祉の充実、三和地域のコミュニティの維持・醸成に取り組んでいく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	三和支所施設管理事業					事業コード	020105810441					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備					
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	02080000 地域振興部 三和支所				所属長	支所長 井上 浩人					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	70	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	三和支所一般管理事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	三和地域及び市東部周辺地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持していく。また、「教育と福祉の拠点施設」として支所内に入所する各種組織・団体(図書館三和分館、社会福祉協議会、東部保健福祉センター、地域包括支援センター、放課後児童クラブ、老人クラブ連合会、シルバー人材センター、福知山市商工会等)との連携を強化し、情報の共有・発信を図る拠点施設として管理・運営を行う。											
対象者	支所利用者数	対象者数	15,000	単位あたりコスト	8.4							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(社)福知山市シルバー人材センター、三菱電機ビルソリューションズ(株)、姫路ナブコ(株)、由良電気設備管理事務所、榎石丸浄水センターほか											
事業概要 (簡条書き)	・三和支所所管施設の光熱水費や維持・修繕及び公用車両の維持管理に必要な経費 ・三和地域地域情報伝達無線システム(エリアトーク)の維持管理 ・三和支所庁舎改修事業経費の執行(教育と福祉の拠点施設として整備するための三和支所庁舎改修工事の実施及び入所各種関係団体との協議・調整) ・三和支所使用料(総務使用料)153、三和町農業振興センター使用料(総務使用料)23、金属くず(物品売払収入)53、気象庁・NTT電気代(雑入)9、老人クラブ三和支部光熱費(雑入)5、三和町農業振興センター光熱水費(雑入)61、社会福祉協議会三和支所光熱水費(雑入)76、三和支所(工事業者)(雑入)79、福知山市商工会三和支部(雑入)23、福知山市シルバー人材センター三和連絡所(雑入)43、気象庁観測謝金(雑入)20、電柱占用料(三和支所)(総務使用料)3、放送利用料(雑入)24、三和支所施設管理事業(地域活性化)(繰越)(総務債)6,100、三和支所施設管理事業(一般)(繰越)(総務債)2,400、電柱類設置貸付収入(財産貸付収入)10、三和支所施設管理事業基金繰入(公共施設等総合管理基金)3,509、三和地域地域情報無線伝達システム機器負担金(雑入)11											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	需用費	6,477	施設及び車検修繕料、電気料、上下水道料、燃料費									
	役務費	480	建物総合及び自動車損害共済分担金、公用車整備手数料、自賠責保険料、ごみ廃棄手数料									
	委託料	5,140	機械設備等保守及び施設清掃業務、机脚等(事務所)移転業務									
	工事請負費(繰越含む)	90,717	三和支所庁舎改修工事、三和支所庁舎2階ベランダ防水改修工事									
	使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金、備品購入費及び公課費	389	自動車賃借料、安全運転管理者講習参加負担金、自動車重量税									

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	135,321	35,000	24,293	0				
	② 補正予算	0	△ 5,090	0	0				
	③ 繰越予算	△ 77,440	83,440	0	0				
	前年度繰越	6,000	83,440	0					
	次年度繰越	△ 83,440	0						
小計(①～③)	57,881	113,350	24,293	0					
予算財源内訳	① 一般財源	26,624	29,996	12,859	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	30,400	78,100	10,200	0				
	⑤ その他特財	857	5,254	1,234	0				
決算情報	① 流充用額	13,446	△ 3,664						
	② 配当予算	71,327	109,686						
	③ 執行額	69,903	103,202						
	④ 執行率	98.0%	94.1%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.75 / 0.01	0.65 / 6.02	/	/				
	② 概算人件費	6,028	22,056						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	75,931	125,258							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三和支所施設管理事業(一般)	種類	総務債	実績金額	2,500	決算附属資料	51	頁
		三和支所施設管理事業(一般)(繰越)		総務債		41,200		51	
		三和支所施設管理事業(公適・脱炭素)(繰越)		総務債		9,900		51	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	支所利用者数	人	14132 / 15000	15250 / 15000	13642 / 15000	/ 20000	20000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	在勤職員数	人	20 / 18	20 / 20	21 / 20	/ 20	20
	単位あたりコスト		1520.9	3495.2	4914.4		

実績/計画	支所管理経費	千円	30417 / 31053	69903 / 135321	103203 / 35000		/	24293	10000
	単位あたりコスト		1.0	1.0	1.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 三和支所は市東部地域の行政サービスの拠点施設として維持していく必要があり、現時点において民間事業者等への委託対応は困難である。 少子高齢化が進行する三和地域において、今後も地域の活力を維持していくため、支所庁舎に福祉関係部署や、教育関係施設等の集約を行うことで、教育と福祉の拠点として、住民の利便性の向上、各関係機関の連携強化による施策の充実につなげていくための重要施設として適正な管理、運営を行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 支所入所団体からは、財務規則に基づく施設使用料とともに、応分の光熱水費も徴収し運営を行っている。 また、事務経費等の抑制のため、照明のこまめな消灯、空調運転の制限などに引き続き取り組むとともに、限られた人員のなかで最大の行政サービスが提供できるよう係間の業務連携を図るなど効率化に努めた。 さらに、教育と福祉の拠点施設として関係部署等を支所庁舎に集約することにより、所管施設全体の管理経費の削減と効率化も図った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に改修工事を完了、関係団体との移転集約を行い、今後、教育と福祉の拠点として住民の利便性を高め、住民が集い、交流しやすい施設として利用者の拡大を図っていくものであり、そのための適正な施設管理、運営を行う必要がある。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 支所機能を維持するうえで必要最低限の管理経費であり、今後も必要である。 三和荘を中心とした地域交流拠点整備とあわせ、福祉関係機関や図書館の支所への移転、集約など、支所を中心とした教育と福祉の拠点整備を令和5年度に完了し、今後は、各関係団体との連携を強化し各施策の充実につなげていく。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 今後、さらに少子高齢化が進む中で支所機能の必要性が問われるが、市東部地域の行政サービスの拠点施設としてしっかりと維持するとともに、単なる行政窓口でなく、地域住民が集える拠点施設として住民が利用しやすい環境を整備していく。 人口減少により地域活力が減衰していくなかで、支所として様々な課題に対応していくため、三和地域協議会や三和地域公民館、各種団体等と協働し、住民の日常生活を支えるとともに、住民の交流拠点としての三和荘と連携し、教育と福祉の充実、三和地域のコミュニティの維持・醸成に取り組んでいく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	三和荘等施設管理運営事業					事業コード	020110130207					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化			施策コード	111						
事業担当	所属	02080000 地域振興部 三和支所			所属長	担当次長 横田 貴裕						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	84・85	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	三和地域交流拠点施設整備事業、三和地域活性化事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市の直接運営となった三和荘施設の維持管理に必要な業務委託や修繕等を実施し、三和地域の交流拠点施設として、地域振興、観光振興、地域住民の交流促進と福祉の増進に向けた施策を展開し、活力あるまちづくりにつなげるべく、適正な施設管理を行う。											
対象者	施設利用者	対象者数	60,000		単位あたりコスト	0.9						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	姫路ナブコ株式会社、森田電気設備管理事務所、アムス・セキュリティサービス株式会社、株式会社石丸浄水センター、三菱電機ビルテクノサービス株式会社関西支社、株式会社モリブチ、株式会社石丸浄水センター、パナソニック産機システムズ株式会社近畿支店											
事業概要 (箇条書き)	・三和荘及び関連施設を市が直接運営するために必要な一般事務経費(事務用品、電話代、郵送料、コピー使用料等) ・三和荘及び関連施設の維持管理に必要な各種点検業務に要する経費 ・三和荘及び関連施設の管理運営に必要な各種修繕に要する経費 ・自動販売機電気代等(雑入)63、三和荘(工事業者)(雑入)72、備品売払(物品売払収入)73											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	需用費	11,945	三和荘用品購入、三和荘光熱水費、三和荘施設修繕料、車検修繕料									
	役務費	815	損害共済基金分担金、地下タンク埋設配管漏えい定期検査、電話代、郵便料金									
	委託料	1,560	三和荘及び三和荘体育館自動扉保守管理、三和荘エレベーター設備保守点検、三和荘自家用電気工作物保安管理業務他									
	使用料及び賃借料	1,062	デジタル複合機賃借料、三和荘電話交換機設備装置等賃借料、土地賃借料(排水路)他									
備品購入費・公課費	279	三和荘施設備品購入、自動車重量税										

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	31,522	15,925	55,914	0			
	② 補正予算	2,336	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
		前年度繰越	0	0	0			
	次年度繰越	0	0					
小計(①~③)	33,858	15,925	55,914	0				
予算財源内訳	① 一般財源	30,245	12,391	33,535	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	3,613	3,534	22,379	0			
決算情報	① 流充用額	600	△ 223					
	② 配当予算	34,458	15,702					
	③ 執行額	25,959	15,662					
	④ 執行率	75.3%	99.7%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	1.15 / 1.00	1.92 / 7.88	/	/			
	② 概算人件費	12,000	37,424					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	37,959	53,086						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三和荘及び関連施設使用料	種類	総務使用料	実績金額	2,298	7	頁
		自動販売機設置貸付収入		財産貸付収入		111	32	
		三和荘等施設管理運営事業基金繰入(過疎地域持続的発展基金)		基金繰入金		3,410	38	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	宿泊者数	人	3124 / 7000	0 / 0	0 / 0	/ 2455	3000
	利用者数	人	57343 / 150000	25390 / 60000	19714 / 15000	/ 101000	101000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	三和荘マイクパス法定点検	回	3 / 3	1 / 3	1 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		17440.0	25959.0	15662.0		
	単位あたりコスト		/	12 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 三和荘施設を地域交流の拠点施設として、市が直接運営するために必要な維持管理経費である。 三和荘施設を市直営施設として維持・継続していくという計画方針に則りながら、宿泊業務の民間委託やレストランエリアの民間貸付などにより民間事業と連携した運営に向け準備を進めた。 令和5年度は施設改修工事により、宿泊・レストラン、ホールの使用を中止する中で、スポーツ施設の使用に限定しており使用者は減少となっている。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の使用に限定しているため、必要な経費も限定し計上した。 指定管理による運営時において、相対的に経費が掛かっていた大浴場を廃止し、三和地域公民館、三和地域協議会、アネックス京都三和連携室及び調理室等の生涯学習施設を設置することで、公共的機能の強化を図り行政財産として維持管理する工夫を行っている。 市直営施設として他の市内公民館施設等との均衡を図り、条例に基づき施設使用者から使用料を徴収している。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に改修工事を完了し、三和地域公民館、三和地域協議会、アネックス京都三和連携室を移転・集約し、レストラン事業者も含め、今後より連携を強化するなかで、新たに整備した多世代交流スペース、調理室や会議室等の生涯学習施設や既存のスポーツ施設、さらに改装した宿泊施設などを最大限活用し、地域住民が集う交流拠点施設として運営を行い、集客の確保を図っていく。 三和地域の各団体の代表者が組織する「三和荘活用推進協議会」から、設備や運営内容について意見を聴取しながら、地域住民の要望に沿った施設運営につなげるよう調整し対応している。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 三和荘施設を地域交流拠点施設として維持・継続していくため、また、使用者の利便性の向上及び安全確保を図るの観点から、必要に応じ施設整備や修繕を行う必要がある。 三和荘改修工事が完了し、全ての施設が稼働する中、特にレストランや宿泊施設及びシャワー棟などにおいて、衛生面の管理を強化し、清掃等適切な維持管理体制を確保する必要がある。 市の直接管理で運営を行っていくうえで、いかに集客を行い施設使用を行っていくか様々な工夫が必要となってくる。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 三和荘及び関連施設を地域交流の拠点施設として維持・継続していくため、必要な施設整備や修繕を行い、使用者の満足度の向上と集客の確保を図る。 三和地域公民館、三和地域協議会、アネックス京都三和連携室や、福祉関連組織等が行う既存イベント等とも連携しながら、三和荘も様々なイベント等の企画を立案・実施することで、使用者の満足度の向上と集客の確保を図る。 地域住民や工業団地立地企業などの町内事業所、施設使用者からのニーズを調査・把握しながら、集客につながる企画等の立案や実施に向けた設備や物品を整備しながら展開を図っていく。 地域住民代表組織である三和荘活用推進協議会と定期的な協議を行い、官民連携のなか様々な課題を解決し、持続可能な運営を行っていく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	下夜久野地区財産区管理経費					事業コード	010101210146					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所			所属長	中島 美香						
会計情報	款	01 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費		会計	18 下夜久野	決算附属資料	285・286	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	地方自治法 福知山市下夜久野地区財産区管理会条例 福知山市下夜久野地区財産区管理会特別会計条例 福知山市下夜久野地区財産区財政調整基金条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	—											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	地域組織の活性化のため、福知山市下夜久野地区財産区管理会条例に基づき、財産の保全管理並びに基金の管理を図る。											
対象者	下夜久野地区住民			対象者数	1,151		単位あたりコスト	3.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	福知山市下夜久野地区財産区管理会											
事業概要 (簡条書き)	福知山市下夜久野地区財産区有林の保全管理を実施 福知山市下夜久野地区財産区管理会を2回(8月・2月)実施											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R5)		主な業務内容							
	報酬		48		管理会委員報酬							
	役員費		2		通信運搬費(郵送料)							
	負担金補助及び交付金		3		金尾地区林道整備管理負担金							
	積立金		4		基金利子積立金							

III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	176		135		135		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
		前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①~③)		176		135		135		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	176		135		135		0			
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0			
	② 配当予算	176		135		0		0			
	③ 執行額	44		57		0		0			
	④ 執行率	25.0%		42.2%		0%		0%			
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.06 / 0.10		0.41 / 0.10		/		/			
	② 概算人件費	760		3,560		0		0			
トータルコスト <small>(予算執行額+概算人件費)</small>		804		3,617		0		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	基金利子		種類	利子及び配当金		3		285		
		下夜久野地区財産区財政調整基金繰入金			下夜久野地区財産区財政調整基金繰入金		52		285		
						実績金額		決算附属資料		頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	管理会開催回数	回	1 / 4	2 / 4	2 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		51.0	22.0	28.5		
	単位あたりコスト		/	14 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	財産区管理会を開催し、決算審査や予算審査を行なうと共に財産区の今後のあり方について検討している。 特別地方公共団体である財産区の管理であり必要である。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	財産区管理会委員報酬を減額するなど、財産区の管理に必要な最小限の経費である。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	管理会開催が2回に留まり、成果指標の達成には至っていないが、必要な議事事項は審議されており、特別地方公共団体である財産区の管理であり有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	福知山市下夜久野地区財産区については、旧村合併の際に設置された特別地方公共団体であり、適正な管理が必要である。財産である木材価格が低迷する中、近年は基金を取り崩す一方となっており、基金が枯渇する前に対象地区住民と課題を共有し、今後の方向性を遠くない時期に結論づける必要がある。 不測の事態に備えて予算では一定額を計上しているが、枯渇している基金の減少を最小限に抑えるため、必要最小限予算執行を行っている。		
改善策	特別地方公共団体である財産区の今後の方向性について計画的に検討を進める。必要最小限の予算執行を行い、基金の取り崩しを極力抑えられるよう執行している。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	夜久野支所一般管理事業					事業コード	020101810443					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所			所属長	中島 美香						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	65・66	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市支所設置条例、地方自治法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	夜久野支所施設管理事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	地域組織・地域活動の拠点施設である夜久野ふれあいプラザ内にある夜久野支所を、適正に管理・運営する。											
対象者	夜久野支所を利用する人			対象者数	11,000		単位あたりコスト	0.7				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (簡条書き)	夜久野支所における事務用品、役務費(通信費)、デジタル複合機賃借料など、一般管理経費を計上・宿直日数 365日 日直日数121日 4名を雇用し輪番制で1名勤務											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)		主な業務内容								
	需用費	249		事務用品、防災行政無線屋外子局電気料、ほか								
	役務費	502		電話代、郵送料ほか								
	使用料及び賃借料	351		デジタル複合機賃借料、NHK受信料								
	負担金補助及び交付金	40		防災行政無線電波利用負担金								

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	7,826	1,218	1,637	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0					
	小計(①~③)	7,826	1,218	1,637	0				
予算財源内訳	① 一般財源	7,823	1,215	1,634	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	3	3	3	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	7,826	1,218						
	③ 執行額	7,276	1,142						
	④ 執行率	93.0%	93.8%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	2.03 / 0.60	0.63 / 0.35	/	/				
	② 概算人件費	17,920	6,020						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	25,196	7,162							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	コピー代	種類	雑入	実績金額	2	決算附属資料	45	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	支所利用者数	人	9254 / 13000	10507 / 13000	10514 / 11000	/ 11000	11000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	在勤者数	人	13 / 15	13 / 15	13 / 15	/ 15	15
	支所管理経費	千円	6661 / 7093	1076 / 7826	1142 / 1218	/ 1637	-
	単位あたりコスト		1.0	1.0	1.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	旧町及び周辺地域住民に対するサービスの拠点としてニーズがあり、少ない人員の中で、管理経費も必要最低限の支出で継続して管理運営を行なっていく。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	支所内3つの係で、繁忙期等臨機応変に応援体制を取りながら、最低限の予算で運営しており、効率性は高い。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	防災行政無線等を通じて、支所で実施している業務を地域住民に周知して、利用者増加に努める。 旧町及び周辺地域住民に対するサービスの拠点として有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	支所機能を維持する上で必要最小限の経費であり、現在の事業規模で継続的に実施する。		
改善策	夜久野支所は、旧町域の住民が利用する施設というイメージが強く、合併以降旧町の住民が主に訪れる施設であったが、近年徐々に近隣の旧福知山市地域の住民も訪れるようになり、西部地域のサービス拠点として期待されることから、継続して管理運営を行なう。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	夜久野支所施設管理事業					事業コード	020105810447					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備					
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所				所属長	中島 美香					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	70-71	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市支所設置条例、地方自治法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	夜久野支所施設管理事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	地域組織・地域活動の拠点施設である夜久野ふれあいプラザ内にある夜久野支所を、適正に管理・運営する。											
対象者	夜久野支所を利用する人	対象者数	16,883	単位あたりコスト	0.7							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス株式会社、公益社団法人福知山市シルバー人材センター											
事業概要 (箇条書き)	夜久野支所事務所及び公用車両の管理経費 ・施設清掃業務(週3回支所負担、週2回生涯学習課負担)・公用車4台保有 ・夜久野ふれあいプラザ光熱水費(11月分～3月分を支所負担、他の月は生涯学習課負担)											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	需用費	4,608	施設電気料・水道使用料、公用車ガソリン代、施設管理用品、他									
	役務費	130	建物共済分担金、公用車損害保険料、公用車法定点検手数料、ごみ廃棄手数料									
	委託料	829	夜久野支所日常清掃業務委託料、旧夜久野町中央公民館機械警備料、除草・剪定業務、除雪業務									
	備品購入費	246	庁舎備品									
	使用料及び賃借料・公課費	443	用車(軽バン、軽トラック)賃借料、公用車自動車重量税									

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	7,759	14,597	13,670	0				
	② 補正予算	0	△ 5,590	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	7,759	9,007	13,670	0					
予算財源内訳	① 一般財源	7,575	8,821	8,162	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	5,400	0				
	⑤ その他特財	184	186	108	0				
決算情報	① 流充用額	△ 417	△ 2,751						
	② 配当予算	7,342	6,256						
	③ 執行額	6,798	6,256						
	④ 執行率	92.6%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.75 / 0.05	0.63 / 0.30	/	/				
	② 概算人件費	6,140	5,880						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	12,938	12,136							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料	種類	総務使用料	実績金額	10	7		
		土地貸付収入		財産貸付収入		1,096	30		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	支所利用者数	人	9254 / 13000	10507 / 13000	10514 / 11000	/ 11000	11000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	在勤者数	人	13 / 15	13 / 15	13 / 15	/ 15	15
		単位あたりコスト	487.1	522.9	481.2		
	支所管理経費	千円	6332 / 6332	16798 / 7759	6253 / 14597	/ 13670	-
	単位あたりコスト	1.0	1.0	1.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	旧町及び周辺地域住民に対するサービスの拠点としてニーズがあり、少ない人員の中で、管理経費も必要最低限の支出で継続して管理運営を行なっている。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	支所内3つの係で、繁忙期等臨機応変に応援体制を取りながら、最低限の予算で運営している。効率性は高い。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	防災行政無線等を通じて、支所で実施している業務を地域住民に周知して、利用者増加に努めている。旧町及び周辺地域住民に対するサービスの拠点として有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	支所機能を維持する上で必要最小限の経費であり、現在の事業規模で継続的に実施する。		
改善策	夜久野支所は、旧町域の住民が利用する施設というイメージが強く、合併以降は旧町の住民が主に訪れる施設であったが、近年徐々に近隣の旧福知山市地域の住民も訪れるようになり、西部地域のサービス拠点として期待されることから、継続して管理運営を行なう。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	夜久野高原・道の駅支援事業					事業コード	020110220306					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所			所属長	中島 美香						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	86	頁
計画期間	開始年度	昭和60年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	夜久野高原・道の駅支援事業「やくの高原まつり」補助金交付要綱、夜久野農林商工祭補助金交付要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	農匠の郷やくの施設管理運営事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	京都府唯一の火山である宝山によって形成された溶岩台地で、風光明媚で史跡にも恵まれている夜久野高原を、道の駅「農匠の郷やくの」を含めて地域内外へ発信することにより、観光地としての集客を図るとともに住民交流を促進する。											
対象者	観光客及び市民	対象者数	75,343	単位あたりコスト	0.1							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	やくの高原まつり実行委員会・夜久野農林商工祭実行委員会											
事業概要 (簡潔書き)	地域資源を活用して人・物・経済の流れを地域に作り出す農村都市交流の拠点施設である道の駅「農匠の郷やくの」を舞台に地域振興を進める各イベント等を実施する団体に対して補助金を交付し支援する。 ・やくの高原まつり ・夜久野農林商工祭											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	負担金補助及び交付金	627	「やくの高原まつり」、「夜久野農林商工祭」補助金									

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	702	902	648	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	702	902	648	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	200	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	351	351	324	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	351	351	324	0			
決算情報	① 流充用額	136	△ 275					
	② 配当予算	838	627					
	③ 執行額	717	627					
	④ 執行率	85.6%	100.0%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.50 / 0.00	0.53 / 0.30	/	/			
	② 概算人件費	4,000	5,080					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,717	5,707						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	夜久野高原・道の駅支援事業基金繰入(ふるさと創生事業基金)	種類	基金繰入金	実績金額	313	36	頁
		夜久野高原・道の駅支援事業(きょうと地域連携交付金)		総務費府補助金		295	22	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
		やくの高原まつり来場者数	人	0 / 16000	2000 / 16000	16000 / 16000	/ 16000
	夜久野農林商工祭来場者数	人	0 / 6600	1500 / 6600	1500 / 6600	/ 6600	6600
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	やくの高原まつり補助額	千円	0 / 548	548 / 548	548 / 548	/ 548	548
	単位あたりコスト		0.0	1.3	1.1		
	夜久野農林商工祭補助額	千円	0 / 154	20 ⁶⁹ / 154	79 / 154	/ 100	154
	単位あたりコスト		0.0	10.4	7.9		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	実行委員会により実施される地域に定着したイベントであるが、自己資金のみでの開催は困難である。 道の駅及び夜久野高原への集客が年々減少傾向にある中、魅力を発信する事業として必要である。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	受益者との負担関係について実施団体と協議をしてきており、補助金額は妥当であり効率的である。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	本事業によりイベントを支援することで道の駅「農匠の郷やくの」への集客に繋がるため有効である。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	それぞれのイベントが従来の規模での開催となり、想定以上の集客があった。一時的なものであるが、イベント開催を通じて夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」のPRもできており、一定の成果を上げていると考えている。		
改善策	イベントの継続についても関係団体と協議しながら、夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」の賑わいの創出、PRに向けて、観光地としての集客や、住民の交流促進につながるイベント実施に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減
<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名:)		<input type="checkbox"/> 他事業へ統合	(統合先事業名:)

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大江支所一般管理事業					事業コード	020101810450					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所			所属長	神内 明宏						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	66	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	大江地域及び近隣の住民に対するサービスの拠点施設である大江支所の文書管理、自治会業務等の運営管理を図る。											
対象者	大江支所利用者			対象者数	12,000		単位あたりコスト	2.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	大江まちづくり住民協議会											
事業概要 (簡潔書き)	・大江地域の自治会文書送達により行政運営を円滑にする。 ・大江支所の事務的経費(郵便、電話、印刷機)等を支出し、支所としての機能を維持する。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	需用費	313	消耗品費(事務用品等) 印刷製本費(PPC用紙等)									
	役務費	467	通信運搬費(電話料金 郵送料)									
	委託料	422	委託料(住民協議会 自治会文書配達、自治会関係会議案内作成)									
	使用料及び賃借料	770	複写機使用料(複写機、コピー機) その他機器借上料(NHK受信料)									
	負担金補助及び交付金、旅費	192	研修等参加負担金(安全運転管理者講習) 旅費									

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	8,449	2,106	2,090	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①~③)	8,449	2,106	2,090	0				
予算財源内訳	① 一般財源	8,447	2,104	2,088	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	2	2	2	0				
決算情報	① 流充用額	0	58						
	② 配当予算	8,449	2,164						
	③ 執行額	7,707	2,164						
	④ 執行率	91.2%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	2.16 / 0.10	1.81 / 3.30	/	/				
	② 概算人件費	17,560	23,720						
トータルコスト <small>(予算執行額+概算人件費)</small>	25,267	25,884							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	コピー代	種類	雑入	実績金額	2	決算附属資料	45	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	支所利用者数	人	12091 / 15000	11779 / 15000	12695 / 15000	/ 15000	15000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	在勤職員数	人	8 / 8	9 / 9	8 / 9	/ 9	9
	支所管理経費	千円	7144 / 7473	22707 / 8449	2164 / 2106	/ 2090	-
	単位あたりコスト		1.0	1.0	1.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民に対して、行政サービスを提供するうえで、重要な拠点である支所機能を維持するため、必要性が高い。 また、大江まちづくり住民協議会に自治会長文書配布の委託を行うことで、確実に配布することができたため、必要性は高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	市役所本庁から離れた大江支所で、少人数で行政サービスの拠点として業務を実施し、地域の身近な存在であり、迅速で細やかな対応で、安心安全な暮らしを提供しているため、効率性は高い。 また、大江まちづくり住民協議会に自治会長文書配布の委託を行うことで、定期的な配布を効率的に行うことができた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	市役所本庁から離れた大江支所で、少人数で行政サービスの拠点として業務を実施し、地域の身近な存在であり、迅速で細やかな対応をするため、有効性は高い。 また、大江まちづくり住民協議会に自治会長文書配布の委託を行うことで、確実に配布することができたため、有効性は高い。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	大江支所の業務機能を維持するため、必要最小限の経費で、現在の事業規模を継続的に実施している。地域住民に対して、迅速で充実した行政サービスを継続的に提供している。そのため、今後も必要な事業である。宿日直職員の高齢化、人材の確保が課題である。		
改善策	宿日直職員の募集・人員確保を引き続き行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大江支所施設管理事業					事業コード	020105810454					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所			所属長	神内 明宏						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	71	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	大江地域及び近隣の住民に対するサービスの拠点施設である大江支所の維持管理を図る。											
対象者	大江支所利用者	対象者数	12,000	単位あたりコスト	1.8							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	㈱スリーエス、㈱丹新ビルサービス、姫路ナブコ㈱、由良電気設備管理事務所、(社)福知山市シルバー人材センター、オニテック、(株)日匠設計											
事業概要 (簡潔書き)	・大江支所の光熱水費を支出し施設の機能を維持する。 ・大江支所としての施設を維持するため、庁舎の修繕や工事を実施する。 ・大江支所としての施設を維持するため、法令で定められている設備の保守点検を業務委託により実施する。 ・大江支所としての施設を長寿命化させるため、庁舎内の清掃を業務委託により実施する。 ・支所所管地の電気自動車が充電できる設備を管理する。 ・令和5年度より『大江地域防災対策事業』を統合。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	需用費	7,818	消耗品費(事務用品等) 燃料費(ガソリン等) 光熱水費(電気料、上下水道料) 修繕料(車検整備等)									
	役員費	505	手数料(車検整備、ごみ廃棄等) 保険料(建物共済分担金、車検整備等)									
	委託料	2,647	維持管理業務(機械設備保守点検業務 施設清掃業務 施設維持管理業務)									
	使用料及び賃借料	980	公用車賃借料 自動車借上料									
備品購入費	390	備品購入費(ポータブル充電器ほか)										

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	23,059	14,661	32,933	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①～③)	23,059	14,661	32,933	0				
予算財源内訳	① 一般財源	11,575	10,250	10,363	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	9,000	0	15,000	0			
	⑤ その他特財	2,484	4,411	7,570	0			
決算情報	① 流充用額	△ 1,273	△ 2,321					
	② 配当予算	21,786	12,340					
	③ 執行額	21,227	12,340					
	④ 執行率	97.4%	100.0%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.74 / 0.00	0.50 / 1.75	/	/			
	② 概算人件費	5,920	8,900					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	27,147	21,240						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱等敷地占用料(大江支所)	種類	総務使用料	実績金額	93	7	頁
		大江支所使用料(税機構・社会福祉協議会)		総務使用料	1,012		7	
		京都地方税機構事務所経費負担金		雑入	1,085		49	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	支所利用者数	人	12091 / 15000	11779 / 15000	12695 / 15000	/ 15000	15000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	在勤職員数	人	8 / 8	9 / 9	8 / 9	/ 9	9
	単位あたりコスト		1049.8	2358.6	1542.5		
	支所管理経費	千円	8398 / 10437	21227 / 23059	12253 / 14661	/ 32933	-
単位あたりコスト		-	1.0	1.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域住民に対して、行政サービスを提供するうえで、重要な拠点である支所の水道代や電気代等の支出、修繕の実施、法令点検等の実施を行い、機能を維持を図ったため、必要性が高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	市役所本庁から離れた大江支所で、少人数で行政サービスの拠点として業務を実施し、地域の身近な存在であり、迅速で細やかな対応で、安心安全な暮らしを提供しているのに、支所を維持するための費用として支出したため、効率性は高い。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	支所管理経費も、ほぼ目標通りの執行ができ、支所利用者数も昨年度と同水準のため有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	大江支所の施設を維持管理するために、現在の事業規模で継続的に実施している。職員が自覚を持ち、コスト削減に取り組んでいるが、経年による老朽化が進み、それに対する維持管理費や、光熱水費の高騰といった問題も全国的に発生してきている中、当該施設も例外でなく、施設を維持管理する経費が今まで以上に必要になってきていることが課題である。また、京都地方税機構に有償で執務室として貸し出しをしているため、業務に支障がないよう、老朽化に対する対策が必要である。		
改善策	支所の維持管理を継続するためにも、部分改修での対応を基本とするが、屋上防水及び空調機については、老朽化に対する対策が必要である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	広報ふくちやま発行事業					事業コード	020102820106					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課			所属長	横山 美和子						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 文書広報費		会計	01 一般会計	決算附属資料	67	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民の暮らしに役立つ広報誌として、市政情報などをお知らせし理解や協力を得るほか、行政からの一方的な情報提供にとどまらず、市民生活の様子や、地域づくりに積極的に取り組んでいる団体やグループ、個人などにもスポットを当てて掲載し、市民参加の機会を増やす。											
対象者	市民・不特定多数の人々			対象者数	-			単位あたりコスト				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・毎月1回32,950部を発行 ・決算・予算特集号の発行 ・広報誌のデジタル化											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	需用費	16,457	広報ふくちやま発行経費ほか									
	役務費	163	広報ふくちやま関係機関への郵送経費など									

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	16,222	16,825	16,795	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①~③)	16,222	16,825	16,795	0				
予算財源内訳	① 一般財源	15,688	16,297	16,267	0				
	② 国支出金	6	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	528	528	528	0				
決算情報	① 流充用額	△ 139	△ 60						
	② 配当予算	16,083	16,765						
	③ 執行額	14,756	16,621						
	④ 執行率	91.7%	99.1%						
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.76 / 0.00	0.86 / 0.10	/	/				
	② 概算人件費	6,080	7,160						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		20,836	23,781						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	広報誌等広告収入	種類	雑入	実績金額	528	決算附属資料	43	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	毎号読んでいる割合(アンケート調査)	%	87 / 70	- / -	- / -	- / -	-
	行動変容につながった人数	人	- / -	474 / 500	470 / 500	- / 500	500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	発行部数(月単位)	冊	32950 / 32950	32950 / 32950	32950 / 32950	- / 32950	32950
	単位あたりコスト		0.5	0.4	0.5		
	単位あたりコスト		/	26 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	市民の暮らしにかかわりの深い事柄や生涯学習、健康、福祉等の催事についての行政情報を市民に伝えた。また、単なる情報のお知らせではなく、「このまちをもっと好きになる」をテーマに、市が市民に伝えたいこと、知ってほしいこと、考えてほしいことを題材に行政施策への理解と市民がまちのことを知ることで愛着心を養い、市民参加を促した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	市の各部署からのお知らせを広報誌に集約し発行した。各部署の業務の省力化やコスト削減ができた。また、有料広告の掲載により、広報誌発行の財源確保に努めた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	毎号広報誌で実施しているアンケートを通じ、きめ細かく市政の情報を伝達し、広報誌を通じて市民の具体的な行動変容につなげることを確認できた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>毎号広報誌で実施しているアンケートから、市民の方が広報ふくちやまから市政情報入手し、具体的な行動を起こしていることがわかる。</p> <p>※令和5年度京都広報賞 広報紙の部：知事賞受賞(府内1位)、写真の部(一枚写真)：知事賞受賞(府内1位) 令和4年度京都広報賞 広報紙の部：知事賞受賞(府内1位)、写真の部(組み写真)：知事賞受賞(府内1位) 令和4年度近畿市町村広報紙コンクール：優秀賞 令和3年度京都広報賞 広報紙の部：知事賞受賞(府内1位)、写真の部(一枚写真)：会長賞受賞(府内2位)、写真の部(組み写真)：知事賞受賞(府内1位)、府民賞(府内1位)：府民インターネット調査 令和3年度全国広報コンクール 広報写真 一枚写真の部：総務大臣賞(特選：全国1位) 令和2年度京都広報賞 広報紙の部：知事賞受賞(府内1位)、写真の部(一枚写真)：知事賞受賞(府内1位)、写真の部(組み写真)：知事賞受賞(府内1位) 令和2年度京都広報賞 府民賞受賞</p> <p>と数々の実績をあげ、広報誌としての質を高めることで、読者の定着と新たな読者の獲得へつながると評価している。引き続き、市民が欲しい情報や興味関心がある情報収集に努め、情報ニーズやターゲットの属性を把握し、本市の伝えたいこととひもづけた広報誌作りに取り組む。</p>		
改善策	<p>まだ高齢の読者が多く、若年層が開けてみたくなる内容や仕掛けを心がける。</p> <p>また、ホームページともSNSとも異なる、紙媒体だからできることを研究し、施策理解や活動への参加のきっかけづくりを目指す。</p> <p>オープンデータ化し、ホームページでウェブブック化しているほか、民間事業者が運営する情報サイト「KYOTO eBOOKS」「マチイロ」「マイ広報誌」でも掲載するなど、若年層が利用するPCやスマートフォンなどから広報を見てもらえるよう展開しているが、引き続き、どこでも広報を読んでもいただける環境を整えるとともに、SNSやホームページ、シティプロモーション活動などと連携させ、多面的な情報発信を目指す。</p> <p>引き続き広報関連の賞にも積極的に参加し、また、広報担当者に研修機会への積極的な参加を促し、広報活動に活かしていく紙面レイアウトや色使いなどを改善し、「読む価値のある広報誌」としてのブランディングを進める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市政案内事業					事業コード	020102820109					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備					
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課				所属長	横山 美和子					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 文書広報費		会計	01 一般会計	決算附属資料	67	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	広域的な情報発信の手段であるラジオ、新聞広告、自治会に設置した広報掲示板を活用し、市民等に細やかで丁寧な情報提供を行うことで、福知山市政への理解と信頼を深める。											
対象者	市民・不特定多数の人々					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・毎週月曜日から金曜日の5日間、ラジオによる市政情報を発信。 ・自治会で市政の周知広報物や自治会運営を円滑にするために活用できる広報掲示板の修繕等を実施(11件)											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)		主な業務内容								
	需用費	121		広報掲示板の修繕費用								
	役務費	1,378		市政情報放送業務ほか								

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,447	1,447	1,554	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0					
	小計(①～③)	1,447	1,447	1,554	0				
予算財源内訳	① 一般財源	1,447	1,447	1,554	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	155	52						
	② 配当予算	1,602	1,499						
	③ 執行額	1,602	1,499						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.08 / 0.00	0.08 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	640	640						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,242	2,139							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	定性的評価			/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	FM放送「市政情報」(月から金曜日週5日)	回	261 / 261	261 / 261	261 / 261	/ 261	261
	単位あたりコスト		6.6	6.1	5.7		
	広報掲示板の改修		0 / 0	28 ⁰ / 0	4 / 10	/ 10	10
単位あたりコスト		0.0	0.0	374.8			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	ラジオなどメディアを通じ、広く市民や市内外の人に市政情報を届けた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	業務を専門業者に任せることで、効果的・効率的で精度の高い広報を行った。広報掲示板の修繕は、内容を精査し優先順位をつけて実施した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	ラジオなどメディアを通じ、市民にきめ細かく市政の情報を伝達した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	ラジオや自治会に設置してある広報掲示板、新聞広告などにより、市民にきめ細かく市政の情報を伝達する有効な手段であり、今後も広く活用していく必要がある。市民への情報提供手段の一つとして、ラジオを活用し、市内の不特定多数の方に市政情報をほぼ毎日(土日除く)発信する体制整備ができています。また、契約しているFM丹波においてラジオ放送だけでなく、独自のホームページやSNS(フェイスブックやツイッター)での情報提供もあわせて実施いただいております。市民の方だけでなく、不特定多数の方が市政情報を取得することが可能となっている。課題は、広報掲示板の更新依頼が多く、希望通りに更新できていないこと。		
改善策	広報掲示板を設置している自治会に、活用状況についてアンケートを実施(H30年度)した結果、今後も使用すると回答された自治会が約80%であったことから、今後も引き続き、予算の範囲内で各自治会の要望に応じ更新し、市政情報の発信に活用していく。ラジオについては、放送局への聞き取りを実施し、より有効な情報伝達について検討を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	まちづくりミーティング事業					事業コード	020102820215					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備					
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課				所属長	横山 美和子					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 文書広報費		会計	01 一般会計	決算附属資料	68	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市長と市民団体等が意見交換できる場(機会)をつくり、市政に反映する											
対象者	参加団体(10人×5回)	対象者数	50	単位あたりコスト	19.5							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	市長と市民等との「直接対話」の実施											
事業概要 (簡条書き)	市長と市民等との「直接対話」の実施											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	需用費	16	消耗品費(事務用品)									

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	25	25	25	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0				
		次年度繰越	0	0					
	小計(①~③)	25	25	25	0				
予算財源内訳	① 一般財源	25	25	25	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	25	25						
	③ 執行額	22	16						
	④ 執行率	88.0%	64.0%						
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.10 / 0.00	0.12 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	800	960						
トータルコスト <small>(予算執行額+概算人件費)</small>	822	976							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	参加者数	人	9 / 120	10 / 80	13 / 50	/ 50	50
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	開催回数	回	2 / 12	2 / 8	3 / 5	/ 5	5
	単位あたりコスト		2.8	11.0	5.3		
	単位あたりコスト		/	30 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>市長が市民と意見交換することができた。 各団体の活動状況を把握するとともに、住みよいまちづくりのために行政や団体ができること、また協働できるまちづくりについて、市長が直接市民の意見を聞く機会となっている。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>申込団体においても会場使用料等、必要な費用を負担してもらい、最低限の支出で実施した。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>これまで参加されたことがない団体との意見交換ができ、今後の連携について考える機会となった。 広報ふくちやまなどを通じて改めて周知をしたが目標達成にはつながらなかった。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 市長が市民の意見を直接聞くことができた。 多くの市民の意見を聞くため、事業の周知やこれまで参加されたことがない団体とのミーティングを増やしていく必要がある。 意見交換を働きかけても、テーマを難しく捉えられ、敬遠されるケースもあり、目標を達成することができなかったが、実施を続けることで市長と市民が直接話す場を提供する必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌や市のホームページを活用し、周知するほか、各種団体に積極的に働きかける。 団体が意見交換しやすい場となるよう、事前に丁寧に説明を行い、実施につなげていく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	例規集データベース化事業					事業コード	020102810107					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	05010000 市民総務部 総務課			所属長	塩見 史明						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 文書広報費		会計	01 一般会計	決算附属資料	67	頁
計画期間	開始年度	平成19年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	行政事務において、例規システムにより、例規・法令を活用することができる。市のホームページにも例規集を掲載することで、広く市民等に周知できる。											
対象者	市民	対象者数	75,343		単位あたりコスト	0.1						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	株式会社ぎょうせい関西支社											
事業概要 (箇条書き)	・市例規集の整備並びに法令及び判例検索が可能なデータベース情報の提供 ・福知山市公報の発行(市公報発行事業:令和元年度予算から例規集データベース事業に統合) ・法令及び条例の根拠とする処分手続の洗い出しを行うとともに、各手続ごとに審査基準・標準処理期間等を設定した個票を作成											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	需用費	1,353	例規集追録印刷									
	委託料	1,191	例規集データベース等更新業務委託(データ更新料)									
	使用料及び賃借料	620	例規集データベース等更新業務委託(システム使用料)									

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,145	3,093	3,090	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①~③)	3,145	3,093	3,090	0	
予算財源内訳	① 一般財源	3,145	3,093	3,090	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 121	74			
	② 配当予算	3,024	3,167			
	③ 執行額	3,017	3,165			
	④ 執行率	99.8%	99.9%			
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	1.11 / 0.00	0.68 / 0.00	/	/	
	② 概算人件費	8,880	5,440			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	11,897	8,605				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	例規集システムログイン件数	件	29371 / 30000	28129 / 30000	31917 / 30000	/ 30000	30000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	例規集追録回数	回	4 / 4	4 / 4	4 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		1202.0	754.3	791.3		
	単位あたりコスト		/	32 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	市民等に広く周知するため、市のホームページで、条例・規則・告示等の内容を掲載している。 職員が事務を行う際に、効率的に事務を執行できるよう例規システムを利用している。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	例規システムにより、他市の例規を参照。また、市の例規への影響等が確認できるよう例規会社から法令改廃情報を提供していただいている。 例規集データベース等更新業務委託契約は、一般競争入札で実施	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	改め文の作成機能や改正後の当該例規のチェックや他の例規への影響など、職員の間では限界がある部分をシステムによりチェックできる例規システムの導入している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	法令改廃情報の提供や改め文作成機能やチェック機能など、使用されていない部署もある。		
改善策	定期的に例規システムの職員研修等を実施し、例規システムを活用してもらう。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	地区公民館育成事業					事業コード	100502630225					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備					
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課				所属長	岸見 貴志					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		会計	01 一般会計	決算附属資料	234・235	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	社会教育法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	各地域公民館一般管理事業、中央公民館及び地域公民館事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	地域の特性、特色を活かしながら住民ニーズにあう生涯学習活動を通じた人づくり、明るい地域づくりを目指す地区公民館活動を支援し、地域の振興を目指す。											
対象者	地区公民館	対象者数	25	単位あたりコスト	541.4							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス株式会社「負担金」福知山市公民館連絡協議会、地区公民館25館、昭和地区福祉推進協議会「分担金」京都府公民館連絡協議会											
事業概要 (箇条書き)	・「公民館活動のしおり」発行(各地域・地区公民館の1年間の活動をまとめた冊子) ・地区公民館事業負担金:各地区公民館が行う生涯学習活動に対し、支援を行う。 ・地区公民館長・主事への報償											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	報償費、旅費	4,379	その他謝礼(地区公民館館長・主事)、普通旅費(全国公民館研究大会・近畿公民館大会ほか)									
	需用費	69	消耗品費(賞状用紙、賞状額ほか)、燃料費(市バス)、印刷製本費(公民館活動のしおり)									
	役務費	44	筆耕料、郵送料									
	委託料、使用料及び賃借料	17	委託料(京都府公民館大会 福祉バス運行業務委託料)、使用料及び賃借料(高速道路通行料)									
負担金補助及び交付金	6,226	負担金(地区公民館負担金)、分担金(京都府公民館連絡協議会分担金)										

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	11,190	11,268	10,141	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0			
小計(①~③)	11,190	11,268	10,141	0		
予算財源内訳	① 一般財源	11,190	11,268	10,141	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 83	0			
	② 配当予算	11,107	11,268			
	③ 執行額	11,107	10,735			
	④ 執行率	100.0%	95.3%			
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.24 / 0.00	0.35 / 0.00	/	/	
	② 概算人件費	1,920	2,800			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,027	13,535				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	地区公民館活動数	回	104 / 280	148 / 280	237 / 200	/ 240	240
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	地区公民館への活動支援数	館	26 / 31	26 / 31	25 / 25	/ 25	25
	単位あたりコスト		427.7	427.2	429.4		
	単位あたりコスト		/	34 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動で得た成果を活かして、現代的な課題や地区の課題解決に取り組める人材育成や活力ある地区コミュニティ作りを推進していただくために必要な事業である。 生涯学習・社会教育の推進団体として、各地区公民館においては、「あいさつ運動」「交通安全対策」「各種スポーツ大会」「公民館まつり」「人権講座」「各種講座」「敬老事業」などの行事と、学習活動、家庭教育・青少年健全育成の推進、人材育成活動などを維持・継続していただいた。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 地区公民館活動においては、住民活動に根ざした生涯学習活動を市立地域公民館との共催事業として「各種スポーツ大会」「公民館まつり」等に参加いただいた。 コロナ禍の影響より、各地区公民館活動で中止された活動があったが、各地区公民館で規模縮小される等できる行事を工夫され実施された。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標については、事業規模から経験的に期待される目標としているが、福知山市域の最も住民活動に根差した地区単位での社会教育・生涯学習活動を行う上で、有効的な事業である。 令和5年度は地域公民館及び地区公民館の館長・主事が京都府公民館研修会に20人、全国公民館大会・近畿公民館大会に9人が参加された。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館館長・主事と各市立地域公民館で構成する「福知山市公民館連絡協議会」が全体会議(館長、主事会)を開催し、コミュニティ活動や地域課題解決に向けての取組み等について、意見交換を行った。 地区公民館組織は現代的な課題や地区の課題解決に取り組める人材育成や活力ある地区コミュニティ作りを推進していくために重要な役割を担うと考えられ、公民館組織体制の充実が大切である。 各地区公民館で様々な生涯学習活動が実施されているが、急速な少子・高齢化などにより若者の参加者が減少している。より魅力的な生涯学習活動の実施が求められる。また、地区公民館を運営する館長・主事などの役員の人員確保が困難な状況である。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティの維持継続に向けた活動ができるように、福知山市公民館連絡協議会、各地域公民館とも連携し、各地区の課題解決に向けて支援を行っていく。 令和6年度に開催される京都府公民館研修会等に参加し、生涯学習の振興や地域づくりに向けた公民館活動の推進について支援を行っていく。 「活動実績」の「地区公民館への活動支援数」の令和5年度と最終目標値について、現在、6つの地区公民館が休止中であるため、31公民館から25公民館に変更する。 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが2類から5類へ移行となり、多くの地区で公民館活動が再開され、公民館活動数が目標値を上回った。そのため、「成果実績」の「地区公民館活動数」のを令和6年度と最終目標値を240に変更する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--